

保護者の皆様

大阪府立八尾支援学校
校長 山中 矢展
准校長 藤井 雅乗

27年度 学校教育自己診断結果について【報告】

早春の頃、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。
さて、昨年10月に配付しご協力いただきました学校教育自己診断につきまして報告させていただきます。
今年度は、昨年度異なる書式であった「本校分」と「東校分」を一本化して実施しておりますので、昨年度との対比を全項目行うことはできませんが、可能な範囲で対比しました。なお、記述回答につきましては複数寄せられたご意見を中心に回答させていただきました。

★報告の内容は下の4項目です。



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (生徒・保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

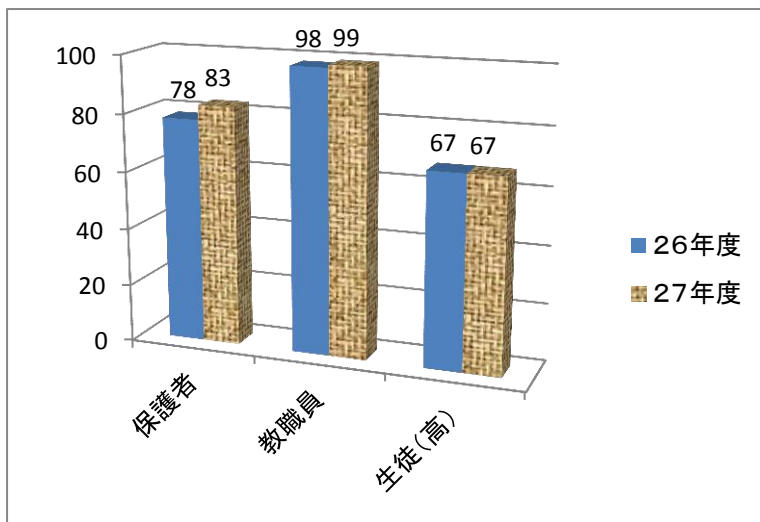
★★★今年度の学校教育計画の達成度を測る基準★★★

- * 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」と回答があったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」という回答を否定的と捉えました。
- * 全体に占める割合において肯定的は70%以上を基準として達成度を測っています。また、否定的は30%以上を課題として捉えることとしています。

(1) 提出率

	提出数	提出率	合計	総合・提出率
保護者	308/372人	83%	487/553人	88%
教職員	179/181人	99%		
生徒(高等部)	71/106人	67%		

* 前回との比較



【分析】

●保護者は、前回と比較して、5%上がりました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。次年度もより効果的な回収方法を工夫しながら保護者の皆様にご協力をお願いしたいと思います。

●教職員についても、1%上がりました。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図りたいと思います。

●生徒については、前回と同じでした。引き続きご協力をお願いし、次年度上昇を図ります。

※昨年度の本校と東校の数値を合わせて「26年度分の数値」を出し、比較しました。

(2)集計結果・分析

■肯定的意見90%以上 △肯定的意見5%以上のアップ
▼肯定的意見5%以上のダウン

【① 生徒向け（高等部のみ）】

		27年度 %		26年度 %		比較
		肯定	否定	肯定	否定	
1	学校へ行くのが楽しいですか。	80	10	72	6	△
2	家で学校の話をよくしますか。	62	28	42	33	△
3	授業はよくわかりますか。	73	3	55	6	△
4	学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。	66	6	*	*	
5	先生とよく話をしますか。	79	8	61	9	△
6	先生はがんばったことをほめてくれますか。	85	6	75	2	△
7	先生はこまっているとき、たすけてくれますか。	75	3	65	7	△
8	進路についていろいろなことを相談できますか。	39	14	26	14	△
9	遠足、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。	85	7	76	4	△
#	運動会、学習発表会は楽しいですか。	79	10	72	5	△
#	給食はおいしいですか。	86	7	74	9	△

● 11項目中、達成基準に達したもの（70%以上）が、昨年度の5項目から8項目に増えました。（3番『授業がよくわかる』、5番『先生とよく話をする』、7番『先生は困っているとき助けてくれる』の3項目が10%以上上昇し、達成基準に達しました。）また、11項目中10項目が上昇し、内7項目が10%以上上昇しました。東校から本校に戻るという状況で、環境の変化が生徒にとって負担や不安にならないようにと、運営してきた結果であると考えられます。

● 基準に達成しなかったものとしては、次の3項目が挙げられます。

- ・ 2番の『家で学校の話をする』は62%でしたが、昨年度より20%も上昇しました。3番『授業がよくわかる』や5番『先生とよく話をする』などの上昇とも相まって学校生活が楽しいものになっているのではないかと推測されますが、このままもう少し広げていけるようにと思います。
- ・ 4番については、人権や社会性・道徳に関する項目で今年度新たに設定したのですが、今後またいへん大切な指導として取り組んでいかなければならないと思います。
- ・ 8番『進路についての相談』は、昨年度より13%上昇しましたが、39%と依然として低くまた「わからない」の回答が47%も占めているという昨年度と同様の状況でした。「進路について相談する」という質問の内容自体が難しいということも考えられますが、3年生だけでなく、1・2年生にも進路の取り組みについて関心を高めること、また相談しやすい体制・環境づくりに努めていきたいと思います。

● 否定的意見が30%以上のものは、今年度ありませんでした。（昨年度33%であった2番『家で学校の話をする』が28%となりました。）

■肯定的意見90%以上

※参考数値

【 ② 保護者 】

	27年度 %	26年度肯定%	26年度肯定%		
			本校	東校	
子どもの様子	1 学校へ行くことを楽しみにしている。	87	9	■90	86.3
	2 授業を楽しみにしている。	81	11	86	*
	3 給食を楽しみにしている。	84	11	89	84.3
	4 学校行事(運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など)を楽しみにしている。	86	8	87	77.4
教育活動	5 『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	86	6	■91	73.2
	6 『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	84	6	■91	*
	7 子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	82	10	87	75
	8 教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	84	7	89	70.8
	9 『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	■92	3	■93	83.4
	10 検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じ、適切な健康教育を行っている。	89	3	■94	73.2
	11 避難訓練(地震、火災、不審者、スクールバス)や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	89	2	■91	80.3
	12 体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	73	9	■90	*
	13 あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道徳教育を行っている。	83	6	87	*
	14 学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育(キャリア教育)を行っている。	71	12	78	*
15 近隣の小・中学校との交流(居住地校交流含む)、高等学校との交流機会を設けている。	72	15	70	*	
保護者との連携	16 健康に必要な情報(保健だより・食育だより)を適切に提供している。	■92	1	■97	*
	17 進路に関する情報(進路だよりや保護者説明会など)を適切に提供している。	■92	5	■90	76.8
	18 児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	84	8	■90	78
	19 PTAは、活動を積極的にやっている。	85	3	89	80.9
	20 学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	■95	3	■95	89.9
教育環境その他	21 教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	85	7	86	*
	22 受付時のチェック体制など、不審者への対応を適切に行っている。	■90	4	■94	*
	23 校内でのけがや病気に対する適切な対応ができている。	88	2	*	74.4
	24 校内はいつもきれいで清掃が行き届いている。	73	20	76	70
	25 施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	71	18	74	65.5
	26 災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	66	8	*	*
高のみ	27 企業・施設・作業所等の進路について必要な情報を提供している。	■92	6	-	82.1
	28 企業実習・作業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。	84	10	-	*

- 28項目中27項目が達成基準に達しました。
- 26番の『防災の取り組み』の項目は、今年度新たに入れたもので、7割に届きませんでした。今年度2次避難について本格的に検討を始めたところで、まだ内容が浸透していなかったことが考えられます。今後さらに検討・取り組みを深め保護者へ周知していくことが求められます。
- 7割には達しているものの、昨年度から70%台に終始している項目も、同じく課題として数値改善を図っていきたいと思います。12番『人権尊重にもとづいた指導・配慮』について結果を真摯に受け止め今後も引き続きしっかりと取り組みたいと思います。14番の『キャリア教育(自立に向けた教育)』については具体的に理解していただけるように発信することがまだまだ必要であると考えます。15番の『交流教育』についても取り組みを広く知っていただくこと、また24番『校内の清掃』や25番『施設や設備が安全に整備されている』についても、清掃の拡大、大規模改修の要望を進める等で、数値を改善したいと思います。
- 否定的意見が3割を超えたものは、ありませんでした。

【 ③ 教職員 】

■肯定的意見90%以上

		27年度 %		26年度肯定%		
		肯定	否定	本校	東校	
教育活動	1	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	■96	4	■95	80.4
	2	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■95	4	■93	*
	3	発達段階や課題に応じた授業を行っている。	■99	1	■94	84.8
	4	学習や指導における教材や教具は、工夫・配慮している。	■99	1	■97	84.8
	5	『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果など適切に評価している	■98	2	■95	84.9
	6	検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じ、適切な健康教育を行っている	■100	0	■97	83.7
	7	避難訓練（地震、火災、不審者、スクールバス）や交通安全教室を通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■95	5	■96	■92.5
	8	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	■97	3	■91	80.3
	9	あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道徳教育を行っている。	■95	5	88	*
	10	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	■90	9	86	*
	11	企業実習・作業所実習の取り組み・支援を適切に行っている。	89	9	*	■93.5
	12	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	86	14	76	*
保護者との連携	13	保健だより・食育だよりなど、健康に必要な情報を適切に提供している。	■99	1	■99	*
	14	進路について必要な情報（進路だよりや保護者説明会）、また企業・施設・作業所等の情報を提供している。	■95	5	*	■94.6
	15	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に対して、適切に対応している。	■97	3	■96	■92.4
	16	P T Aは、活動を積極的に行っている。	■97	3	■94	82
	17	連絡帳や電話を通じて、保護者との連携をきめ細かく行っている。	■99	1	■98	■94.6
	18	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■98	2	■97	*
視覚支援	19	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境を、児童・生徒の障がい特性に応じて視覚的にわかりやすく示している。	■97	3	■96	*
	20	児童・生徒の特性に応じて、授業が視覚的にわかりやすくなるよう、教材や内容提示の方法などを工夫している。	■98	2	*	*
組織マネジメント	21	校長・准校長は自らの教育理念や学校経営について、考え方を明らかにしている。	■97	3	■99	84.8
	22	校長・准校長は学校経営にリーダーシップを発揮している。	■94	6	■96	71.7
	23	学校運営に教職員の意見・意向が反映されている。	80	20	87	56.5
	24	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	86	14	*	71.7
	25	会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている	85	15	*	79.3
	26	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	76	23	75	72.8
	27	体罰の防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるよう、研修等に取り組んでいる。	■95	5	*	*
	28	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	74	26	69	*
	29	分掌、学部、学年それぞれの連携は図られている。	78	22	74	*
	30	労働衛生環境は少しずつ改善している。	53	47	63	*
	31	勤務実態や休憩時間、教材研究や授業時間の準備など、労働条件は少しずつ改善している。	46	53	56	46.7
	32	学校の課題を見つけ、改善に向け取り組みを行っている。	80	19	*	*

- 1～20番までの20項目中、すべて肯定的意見が7割を超え、達成基準に達しました。
- 21～32番までの「組織マネジメント」12項目では、30番『労働衛生環境』、32番『労働条件』の2項目が7割に達せず、否定的意見の3割を大きく超えました。例年このような状況が続く中さらに数値が下がっていますので、職員室の過密についてや時間の合理化等改善が求められるところです。
- 28番の『初任者等の育成』は昨年度から5%上昇し、達成基準に達しました。

【③ 教職員つづき】

■肯定的意見90%以上

	項目	内容	27年度 %		26年度肯定%	
			肯定	否定	本校	東校
地域連携	33	地域支援におけるセンター的機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが動きやすい体制が整っている。	84	16	87	*
	34	地域の幼稚園・保育所・小中学校・高等学校との連携・支援を行っている。	84	15	*	*
	35	言語聴覚士・臨床心理士・医師・子ども家庭センターなど、外部機関と連携し児童・生徒の支援を行っている。	89	10	86	65.2
	36	消防署や警察と連携した『子どもの安全を守る』訓練は充実している。	89	11	■96	*
	37	地域に開かれた研修会が行われている。	89	13	86	*
総務	38	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	56	43	60	83.7
	39	学校予算は適正に編成・執行されている。	85	15	86	80.5
	40	P T A活動への教職員の理解・参加・協力は積極的である。	85	15	■92	*
情報教育	41	個人情報の管理における校内システムは確立している。	■90	10	■92	79.3
	42	情報公開に対応するための教職員の共通理解が図られている。	86	14	*	69.6
	43	I C T教育の推進に必要な機器（大型モニター、タブレット端末など）は充実している。	75	25	78	52.2
	44	日々の教育活動においてI C T機器（大型モニター、タブレット端末など）を積極的に活用している。	86	14	78	*
教務	45	公文書や指導要録等の管理は十分に配慮されている。	■97	3	■95	80.4
研究	46	校内研修は計画的に実施されている。	■97	3	■91	85.8
	47	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができる。	■90	10	87	80.4
生活指導	48	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	89	11	*	85.9
	49	全校集会など児童・生徒会活動は活発である。	■92	8	■90	*
	50	校外外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	■94	6	■94	*
進路	51	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	■91	9	■92	*
	52	卒業式のアフターケア（進路先訪問や進路の変更の相談など）が行われている。	88	9	*	*
支援	53	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談など）が受けやすい体制が整っている。	87	12	87	*
健康教育	54	校内の清掃活動を意欲的に取り組んでいる。	82	18	82	*
	55	保健室は健康に関する相談がしやすい。	■96	4	■98	87
	56	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	■100	0	*	■91.4
	57	給食は子どもの実態に合ったように作られている。	■95	4	■96	*
企画	58	学習発表会等の校内行事の運営が適切に行われている。	■97	2	■96	*
防災	59	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	■90	10	*	*

●33～59番までの27項目中、26項目が達成基準に達しました。

●唯一達しなかった38番『施設や設備は安全に整備されている』は、数値を落とす結果になりましたが、3年間の本校の耐震工事や昨年度の小学部棟の大規模改修など、ずいぶん改善されたという評価があります。次年度さらに、管理棟（現在中学部のエリア）・作業棟の外壁を中心に、大規模改造工事の基本設計が行われることになりました。

《保護者・教職員を比較して》

- 「教育活動」「保護者との連携」に関する項目では、ほとんどの項目で達成基準【7割】を超える評価となり、保護者と学校間の共通認識や連携は円滑に図られているものと考えます。
- しかし、教職員と保護者の評価の間に10%以上開きのある項目が、共通項目23項目中14項目にも及んでいます。特に大きく開きのあるものとしては、①『人権尊重にもとづいた指導』、②『防災の取り組み』（ともに差24%）、③『キャリア教育』（差19%）、④『発達段階に応じた授業』（差17%）、⑤『教材・教具の工夫・配慮』（差15%）、⑥『交流教育』（差14%）などが挙げられます。保護者の評価をしっかりと省みて教職員側の課題として捉え、さらなる改善・検討に向け具体的な取り組みを進めたいと思います。

(3) 記述回答【多くのご意見をいただき、ありがとうございました。要約しますと以下の通りです。】

1 施設設備に関して

○老朽化した施設・設備を安全に整備してほしい。きれいに改善してほしい。

24～26年度の耐震・大規模改修工事によりずいぶん改善が進みました。次年度は、管理棟（現在中学部のエリア）・作業棟の外壁を中心とした大規模改造工事の基本設計ができる見通しとなりました。今しばらくお待ち下さい。また生徒・教職員による清掃活動もしっかり取り組んでまいります。

2 学校行事に関して

○授業参観の回数を増やしてほしい。

今年度1学期に各学部3日間の「参観期間」を実施し、授業とそれ以外の学校生活の部分もご覧いただくことができました。次年度も同様の形態で行う予定です。また、参観期間以外でも適宜個別に参観を受け付けておりますので、いつでもお申し出ください。

○運動会について検討してほしい。（開催時期、学部別など）

今年度3学部がそろったということで、従来の「いっしょに行う形」で実施し他学部の頑張る姿も見ることができました。宿泊学習や他の行事との関係があり2学期開催となっております。いろいろな声について総合しながら検討を続けていきたいと思っております。

○支援学校としての学校行事のあり方、工夫を望む。2学期の行事が多すぎる。

おもに2学期に大きな行事が続きますが、児童・生徒にとって大きな負担とならないように配慮しながら学習の成果として取り組むなど、計画・準備から留意し行っております。それぞれの様子等を見つつさらに工夫するなど、配慮に努めたいと思っております。

3 教育活動に関して

○子どもたちの人権を尊重してほしい。

教職員ひとりひとりが児童・生徒理解について日々研鑽し、保護者の思いをしっかり受け止めた上で向かい合うということを今一度大切に意識付けていきたいと思っております。今後も人権意識の向上に努めてまいります。

○授業内容が子どもの実態にはやさしすぎるので、もう少し細かく合うようにしてほしい。

個々の児童・生徒の実態把握に努め、それに沿った授業内容を設定しております。細かな達成目標により、取り組みやすいところから少しずつ自信を深められるように学習内容の積み上げを図っております。また、社会参加に向けて生活の中で活かせるような内容や学習課題も多くあります。学習についてその内容やねらい等を保護者へしっかりと説明させていただき取り組んでまいりたいと思っております。児童・生徒一人ひとりの実態や課題をより細かに捉え、授業方法や内容の吟味、教材・教具の工夫や配慮を学部や学年として追究していくよう努力します。

○教員の対応力等スキルアップや質の向上を望む。

上記のような授業力や人権意識の向上に加え、発達障がいや自閉症スペクトラム等いろいろな障がいの特性にしっかり対応できる専門性の向上に努めていくべく、研修等取り組みます。

○個別の教育支援計画、個別の指導計画をもっと適切な形、指導となるようにしてほしい。

また、引き継ぎをしっかり受けて指導に生かしていただきたい。

児童・生徒の実態や本人・保護者のニーズ、願いを丁寧に捉えること、また保護者といっしょに目標を設定することを大切に取り組んでいるところです。今後もできる限り応えていきたいと思っておりますので、話し合い等よろしくお願ひいたします。また、前所属園・校や、前学年からの引き継ぎ事項はクラスや学年の方でしっかり受け実態として捉え、日頃から情報共有をするとともに適切な指導に努めます。

○進路についての情報をもっとわかりやすく伝えてほしい。

キャリア教育を小学部から取り組んでほしい。また、就労に特化した内容ばかりではないように。

進路関係の情報については小・中学部にも広くお伝えするよう努めておりますが、「キャリア教育」を含めもっとわかりやすく身近なものになるよう工夫する必要があると思っております。また、就労に限定せずライフスキルの向上をめざしてキャリア教育プログラムをより具体的に実感できるような取り組みを進めたいと思っております。

○過密・過大のため、ゆとりある教育ができていないので、改善してほしい。

以前より在籍児童・生徒数の増加については大きな問題と捉え、府教育委員会にも現状等強く訴えております。今後も同じ姿勢で臨み、現状としましてもできる限り子どもたちに充実した教育環境・教育内容を提供するよう努めます。

4 その他

○連絡帳等子どもの様子をもっと伝えてほしい。

連絡帳にはできる限り学校の様子をお伝えするようにしておりますが、お子さんの様子についてよく伝わるように工夫・努力をいたします。また、学年だより等でさらに内容やねらい、児童・生徒の様子がよくわかるよう紙面・内容の充実に努めます。

○駐車ができるようにしてほしい。

今年度は、行事等ひとつひとつ状況を見ながら、「駐車許可証」の発行という形で自家用車の乗り入れをしていただきました。次年度も同じ体制を考えております。しかし、駐車できるスペースに限りがあること、またグラウンドでは児童・生徒が体育等の授業を行っており、学習活動や安全面などへの配慮のため行事によっては校内駐車禁止となることに、ご理解をお願いいたします。可能な限り、公共交通機関や自転車のご利用をお願いいたします。

○バスの乗務員の方に、もっと障がいを理解してほしい。

委託のバス会社に教育委員会主催の研修に参加するよう依頼しています。また社内でも研修等により障がいに対する理解を促進するよう要請しています。そして今年度は、バス乗務員とPTA本部役員との意見交換の場を持ちました。

(4)まとめ【学校協議会の提言等】

- I 保護者向けと教職員向けの共通した項目の達成度を総合的に見た場合、ほとんどすべての項目が達成基準に達しており、今年度の学校教育計画に基づく各種取り組み（支援）は、概ね達成していると捉えたいと思います。また、生徒向けの達成度も昨年度よりほぼすべての項目が上昇する結果となりました。今後も、人権意識の向上、授業力・専門性の向上を中心に据え、子どもたち一人ひとりの自立や社会参加に向け、保護者・地域外部機関等と連携しながら充実した教育活動が展開できるよう取り組んでまいります。
- II 今年度70%に達しなかった「防災の取り組み」、また保護者との数値に開きのあった「人権尊重にもとづいた指導・配慮」「キャリア教育」「子どもの発達段階に応じた授業」「教材・教具の工夫・配慮」「交流教育」、さらに教職員のところでも拳がった「施設・設備」について、しっかり課題として捉え、改善に向け各部署で検討・取り組みを進めていきたいと思っています。教職員向けでの課題「労働環境」等も整備を進め、教育内容や環境に還元できるよう配慮していければと思います。

【学校協議会からの提言】

- ★「キャリア教育」を進める上で、学校全体・全教員で取り組む姿勢が必要である。就労・社会参加の受け皿の形は昨今大きく広がりを見せているので、視点を外に向けつつ情報を実感できるような研修や情報発信が必要である。 →次年度の取り組みにぜひ活かしていきたい。
- ★70%台の項目を課題にということよりも、否定的意見の数値が高い項目にこそ改善の余地がある。否定的意見に詰まっている「やるべきこと」「やりたいこと」などの思いを丁寧に拾い上げ、改善していくことが求められる。 →IIの課題に加えて、検討を進めていく。
- ★改善の進んだところは、ぜひ具体的に示してほしい。 ★「合理的配慮」に関し、その基盤として保護者や児童・生徒との関係づくりや良好なコミュニケーションを大切にしてほしい。など

- III 昨年度に保護者の方から寄せられたご意見の中で、今年度検討し改善や対応ができた（対応する予定の）ものを一部挙げさせていただきます。
- 1) 施設設備の改善について・・・改修の要望の結果、府における「学校老朽化対策事業」において次年度から数年かけて大規模改造を行う見通しとなり、改善に向かうこととなりました。その他、3階建て校舎の内壁ペンキ塗りや温室の改修、プレハブ校舎の廊下等改装、南東門の設置などさまざまな改修工事が行われました。
 - 2) 子どもの特性をふまえた視覚的な支援について・・・今年度全教員で視覚的な支援や指導の工夫、教材等について出し合い共有を図りました。今後も意識を持ち高めていきます。
 - 3) 駐車場について・・・可能な限り、「駐車許可証」発行にて校内にお停めいただきました。今後も「校内駐車」の取り決めにもとづくご利用に、ご理解ご協力をお願いします。
- *ご意見につきましては、すぐに実現できるものや検討に時間を要するもの等ございます。今後もすべてのご意見について、各部や関係部署で真摯に検討を続けてまいります。

ご協力ありがとうございました。（*この報告は、3月末までに学校ホームページに掲載いたします。）